

一般質問

・地域防災について
・(仮称)御前崎リサイクル
エネルギープラザについて



河原崎恵士

問 防災訓練時に医療機関との連携は

答 平成30年12月の地域防災訓練で御前崎総合病院を会場に救護所運営訓練を実施しました。今後、方面隊や自主防災会と連携した訓練を計画します。

問 複合災害を想定した訓練は

答 県と連携し、調整・協議していきます。

問 方面隊と防災指導員の役割は

答 方面隊は地区内の自主防災会の総括や災害対策本部との連携、広域避難所の開設・運営などです。防災指導員は、方面隊、自主防災会の育成に関することなどです。

問 災害時の要配慮者対応は

答 個人情報提供に同意した方のみ、個別計画を作成し、

自主防災会長と民生児童委員に支援をお願いしてあります。

問 災害時の電源確保手段への支援策は

答 既存の補助金制度を踏まえ検討します。



御前崎総合病院での地域防災訓練の様子

問 (仮称)御前崎リサイクルエネルギープラザの説明会

答 実施は説明会開催を要請していますが現在では実現されていません。企業努力で実施していただけるものと認識しています。

一般質問

・大栄環境エネルギープラザ
誘致問題について
・原発問題について



清水澄夫

問 市から議会に提出されている浜岡砂丘、河津桜夜桜見物構想は、誘客として理解するが、その西側には巨大な産廃処理施設の誘致が進められている。観光地として進めるなら産廃処理施設の誘致は白紙に戻すべきでは。また、高松地区、比木地区のタウンミーティングで参加者から産廃問題の意見が多数出されたが、市の広報誌にはこの内容が一切掲載されていないが理由は

答 これは当該企業の進出であり、市が誘致したものではありません。そもそも本市に「誘致計画」は存在しません。広報おまえざきに高松地区と比木地区で発言のあったエネルギープラザに対する内容を掲載していない理由は、本年度開催した市政懇談会は、市の重要施策「シティプロモーション」、「御前崎の教育」の2つのテーマで開催しました。この2点についていただいた意見を広報おまえざきに掲載しました。

問 1、2号機の廃炉に伴い排気筒の解体準備が進められているが、排気筒には放射能が含まれ、解体によって放射能が拡散する可能性がある。放射能の影響がなくなるまで解体を中止するよう中部電力(株)に求めるべきでは

答 排気筒の解体撤去工事を実施するにあたり、「放射線管理を適切に行うとともに、放射性廃棄物の低減に努め、安全最優先で工事を進めていく」との説明を受けています。

問 福島事故の悲惨さを考えれば、4市の安全協定は見直す時期にきている。その議論を4市の勉強会ですべきでは

答 原子力施設の変更などに係る許認可・監督・指導の権限が全て国にあることから、現在、県及び4市が締結している協定は妥当なものであり、本市としては安全協定の見直しは考えていません。